

この国の 「現在」を問う

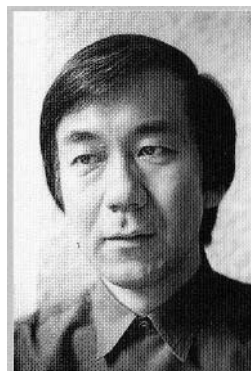
～脅かされる思想・良心、言論・表現の
自由とマスメディアの問題～

1990年1月18日、本島長崎市長(当時)が市役所玄関前で右翼の銃撃テロに襲われました。わたしたちは、こうした蛮行を二度と許さないことを固く誓いあうため、毎年「自由と民主主義を願う市民のつどい」を開催してきました。

日本を「戦争する国」に変えるために最終段階として憲法「改悪」の動きが急ピッチで進められています。また、市町村合併の強制や小規模自治体の切り捨てなど地方自治の蹂躪によって戦争国家体制への動きも顕著となっています。

今回のつどいには、11月3日の「ながさき9条フェスタ 2005 秋」で「靖国と自衛軍 ～憲法『改正』の焦点～」と題して講演をされた高橋哲哉教授をお招きして、日本国憲法が基本的人権として尊重する「思想・良心、言論・表現の自由」について学び、合わせてマスメディアの問題についても考えたいと思います。

皆様のご参加をお待ちしています。



講師：高橋 哲哉氏

東京大学大学院総合文化研究科教授。哲学者。

1956年、福島県生まれ、

著書は、「心」と戦争、デリダ、戦後責任論など多数。

近著の『靖国問題』は、ベストセラーとなっている。

…私たち一人ひとりが主権者として、憲法が定める自由、平和や民主的な価値について心の底から大切に思うことが必要。一人ひとりが声を上げ、つながって行動することで憲法改悪の流れをくい止めよう。その上で民主的な価値や平和を実現していく、本当の意味で社会に根付かせていく努力を息長く続けていきたい。

(ながさき9条フェスタ 2005 秋での講演より)

1.18

18:30 ~ 20:30

2006年1月18日(水)

勤労福祉会館 2階講堂

長崎市役所・水道局ウラ

自治労連長崎市役所従業員組合

〒850-0031 長崎市桜町 2-22

TEL 095-826-1522 / FAX 095-826-7630

E-mail: n-sijuso@ngs2.cncm.ne.jp

http://www1.cncm.ne.jp/~n-sijuso/

入場無料